

〔和漢三才圖會 萩木 五〕鳳尾竹

鳳尾竹俗

孟宗竹俗

本綱、鳳尾竹葉細三分。

按此俗云鳳凰竹也、筱竹之類而高不過五六尺、葉細三分許甚茂、竹太如筋及箭箇而肉厚、今年生者葉亦竹略肥大、舊年者却瘦細、九州平戶多有之、其筍冬月生、故俗呼曰孟宗竹、吳孟宗之母冬好筍天感孝也、雪中生筍取令吃之、此竹雖非其種、唯以冬生好事者名之、此筍最細長、甚苦不可食。

〔重修本草綱目 啓蒙 萩木 二十六〕竹

鳳尾竹ハ花戸ニ誤テ鳳凰竹ト云、一名土用ダケ<sup>アリ</sup>シユンヤウチク、土州サンシヤウダケ<sup>アリ</sup>播州小ギンチク、薩州人家ニ多ク栽ニ、叢生シテ幹細ク、長サ五七尺、葉闊サ二三分、長ナー一寸許、排生シテ榧葉或ハ番蕉葉<sup>ワキウツヅブ</sup>如シ、冬ハ葉枯ル莖ハ枯レズ、夏土用中ニ筍ヲ生ズ、故ニ土用ダケト云、泉州府志ニ俗呼觀音竹ト云。

〔大和本草竹〕慈竹 本草曰、一名義竹、叢生不散、人栽爲玩、今按是近年所來唐竹歟、或曰南京竹、天寶遺事云、有竹叢密、筍不出外、因號義竹。

〔古今要覽稿 草木〕南京竹

慈竹

南京竹は俗稱なり、漢名を慈竹、一名義竹、一名孝竹、一名叢竹といひ、また一名子母竹、一名兄弟竹、一名慈孝竹、一名慈姥竹、一名孝順竹、一名王祥竹、一名釣絲竹、一名雲蓋ともいふ、これ即鳳尾竹の別種なり、故にその枝幹並に鳳尾竹に似て、毎葉鳳尾竹よりも長し、その高きものは二丈許<sup>竹譜詳錄</sup>、低きものは六七尺<sup>本草綱目</sup>、叢生數十百竿に至り、根窠盤結して他處に引す<sup>竹譜詳錄</sup>、その筍一年に兩出し、夏筍は中より發して涼を母竹に譲り、冬筍は外より發して母竹の寒を護ると致<sup>富全書</sup>、遵<sup>富全書</sup>生八膳<sup>富全書</sup>、いひ、また數種あり、節間相去る事八九寸なるを籠竹と<sup>益物記</sup>いひ、一尺許なるを苦竹と<sup>同上</sup>いふ、そ